

## 会 議 録

会議名	平成26年度 第1回 相模原市経営評価委員会		
事務局	企画部 経営監理課		
開催日時	平成26年7月1日(火曜日) 午後6時00分～午後8時5分		
開催場所	市役所本庁舎 本館2階 第1特別会議室		
出席者	委員	出席委員8人(別紙のとおり)	
	市		
	事務局	4人(経営監理課長 他3人)	
公開の可否	公開可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	/		
会議次第	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 傍聴者確認</li> <li>3 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) さがみはら都市経営指針実行計画の進捗状況の評価等について</li> <li>(2) その他</li> </ul> </li> </ul>		

主な内容は次のとおり。

- 1 傍聴者確認
- 2 議事
  - (1) さがみはら都市経営指針実行計画の進捗状況の評価等について  
委員会管理項目となっている取組を中心に説明を行い、質疑等を行った。
  - (2) その他  
平成26年度の予定について説明した。  
次回委員会開催日程の調整を行った。

(以下質疑応答・意見交換 委員の発言、事務局の発言)  
(1) さがみはら都市経営指針実行計画の進行管理について

#### 受益者負担の適正化の推進

平成27年10月にも消費税率の引き上げが予定されているが、さらに遅れる心配はないのか。

適正な料金等を導くための基礎数値となるコストについては、消費税率引き上げに対応できるよう改正した税率を乗じて算出するなど対応策を講じているので、大丈夫だと考えている。

計画どおり平成28年度までに完了するよう取組を進めていただきたい。  
受益者負担の適正化と同時にコスト削減にも取り組んでいただきたい。

#### 時間外勤務時間縮減プロジェクト

休日出勤の振替取得状況と時間外勤務時間は相関関係にあると思うが、振替取得状況はどのようになっているのか。

振替休暇は必ず取得するよう徹底しており、取得率は高いと思うが確認する。

評価には、「台風や大雪による対応で時間外勤務が増えてしまったことも考慮するが、評価の統一性を図るためB評価にした」などの意見を加えて欲しい。

10万時間を削減するとなると、単に時間外勤務の時間をカットすることが目的化してしまう心配があるが、どのように行うのか。

市民サービスを維持しながら、事務の効率化等を図り削減していくこととなる。

時間外を削減していくためには仕事にメリハリをつけて行うことが重要となってくる。また、これらの旗振り役が必要となってくる。

市役所の手続きは書類が多いことと、ムダと思えるものがあったりするが、こういうものを改善していく必要があるのではないか。

ムダを無くして手続きも簡素化しよう全庁的に取り組んでいる。しかし、市民の方に繁雑と思えることであっても、制度上、必要とする手続き等もあるので、十分説明し、理解を得る必要はあると思う。

時間外勤務の多い職員の健康管理面でのフォローはあるのか。

本人、所属長それぞれに面接しており対応している。

#### 債権回収の強化

B評価とした理由は増加傾向にあった未収金を削減に転じさせたことを評価したものか。

そのとおり。他にも職員のモチベーションや努力なども考慮して評価した。

- 未入金の回収の難しさは十分理解しており、削減に転じさせた努力は認めるべきと考えるが、評価については基準に照らして考えると、目標値が達成できそうにないのであればC評価とすべきだろう。その上で、目標値を変更するよう委員会が提言すればよいのではないか。

そのとおりに委員会として意見を集約させていただく。

- 市税などは所得に応じて賦課されているものなので、基本的に支払えないことはないので厳しく対応すべきではないか。

給食費や保育料などでも滞納があるとのことだが、納付に対する意識付け、モラルの向上が必要ではないか。

当然、そのような取組も行っているが、なかなか難しい部分はある。

- 給食費などの支払いが困難な方は就学援助金制度などもあるので、これらの制度を活用すれば支払は可能だと思われる。

- 全体的に未収入金が減少している中、増加している未収入金の種別は何か。また、未入金には所得に応じて賦課されているものとそうでないものがあるなど、その未入金の性格によって回収率も違うと思うので、これらを考慮して評価することも考えた方がよいのではないか。

項目別の状況については次回お示しさせていただくので、その状況を見て再度、ご意見をいただきたい。

- 市民負担の公平性を確保するためにも、この取組は重要である。今後、例えば保育料などでも差し押さえを行うなど、より強い措置を講じていく必要がある。また、これらの措置を講じることができるよう条例を整備するなど仕組みづくりが必要である。

#### パークマネジメント計画の策定と実施

- 夜間、公園に若者がたまり場として利用し、ごみを捨てるなど公園環境が良くない。是非、平成27年度に策定を予定している運営計画を前倒しして、これらの対策も取り組んでほしい。

- 若者がごみを捨てるなどの行為は、大人たちが注意しなくてはならないが注意する大人が減っている。

- 自治会でも防犯活動の一環で公園の見回りをおこなっているが、難しい面も多くある。

- このような計画を作るときは、市民の意見を聴いていくのか。

パブリックコメントなど、何らかの形で意見聴取はしていく。この時に、公園環境に対する市民の方のご意見などをお伺いすることとなる。

#### PPP（公民連携）活用指針に基づく民間活力導入の促進

- まずは指針の策定を進めていただきたい。

#### 公立保育所の民営化

- この取組の背景や目的はなにか。

前計画のアクションプランで、人材や財源の有効活用と市民サービスの向上を図るため26年度に1園民営化することを計画していたが、達成できなかった。このため、引き続き、実行計画に位置付けしたものである。

- 今後どのように取組を進めていくのか。

以前は保育所を民営化することが、人材や財源の有効活用と市民サービスの向上を図るためにもっとも有効な手段だったが、新制度の施行により様々なサービス創設されたため、目的を達成するための手段について、再検討する必要が生じた。このため、待機者対策を進めていく中で、目的達成のためには、どの方法が有効なのか、総合的に検討していくこととしている。

- 今後、何をしたいのかをシートの中に明記にしていきたいと思います。
- 見込まれる成果の中に、人材と財源の有効活用とあるが、どのような活用を考えているのか。

行政が担うべき他の保育事業に人材や財源を振り分けて保育事業を推進することを考えている。

事務の効率化（会議の効率化、窓口案内サービスの充実化）

- 会議のマニュアルとはどのようなイメージのものなのか。  
まだ、具体的なイメージはないが、会議の前に論点整理するなど、会議を効率的、効果的に進める方策などを盛り込むことを考えている。
- 平成9年に作成したマニュアルは現存しているのか。  
現存しているものの、あまり使われていない。このため、このマニュアルを改正したいと考えている。  
他市の事例等も参考にしつつ、取組を進めていきたいと思います。

生活保護受給者の就労による自立促進

- 今後、目標値は達成できる見込みなのか。  
かなり力を入れて取り組んでおり、達成する見込みである。近年、自立するための支援事業も強化しており、今後、効果が出てくるものと考えている。

産業用地の創出

- 平成25年度の実績や課題を見ると、計画期間中の完了は難しいのではと感じるがB評価で良いのか。  
状況は厳しいものの、農地転用のための要望を行うなど、市として力を入れて取り組んでいる。今後も様々なツールを使って取組を推進して行きたいと考えている。
- 一部の企業が撤退したとのことだが、事業が遅れたことが理由なのか。  
確認する。
- 農振農用地の解除が要件となると、かなり厳しいのではないかと。

(2) その他

次回の委員会の開催は、7月31日午後6時からを予定する。

氏名	所属団体等	出欠
山口 由紀子	相模女子大学教授	出
川崎 一泰	東洋大学経済学部教授	出
出雲 明子	東海大学准教授	欠
霧生 卓	公認会計士	欠
田所 昌訓	相模原市自治会連合会	出
長谷川 光明	相模原商工会議所	出
大島 浩之	公募委員	出
西村 初代	公募委員	出
芳賀 貞江	公募委員	出
安田 隆春	公募委員	出